

人口	4,083人
世帯	959世帯
出生	4人
死亡	4人
転入	2人
転出	1人

—2月末住民登録人口から

春告げる きね振り

笛やたいこの鳴色に合わせた素朴な踊りは、忘れていた郷愁を呼び起こしてくれるようです。

五加神社の春祭りには、このきね振り踊りで幕が開きます。

— 4月1日五加地内で

主な内容

- 新年度予算のあらまし… 2-4P
- 総合計画の解説…………… 5
- 開発センターいよいよ着工… 6
- 村民剣道大会青年祭………… 7
- 春の交通安全運動…………… 8
- 団体長や役員紹介…………… 9
- 村誌編さんスタート …… 10
- 村の文化財 ……………… 11
- ふるさとへの便り …… 12
- お知らせは7ページ下欄から



6億円の使い道

生活安定と福祉の充実へ

新年度村の一般・特別会計予算決まる



→ 熱心に討議が続けられた議会

さる三月十八日から開かれた村議会第一回定例会で、昭和四十九年度の予算が成立しました。村議会は六日間にわたり慎重に審議が行なわれましたが、最終日の二十三日、一般・特別会計合わせて昨年度の当初予算を約一億七千万円上回る五億九千七百四十二万円の予算と、関連議案が可決されました。本号では、この村の一年の台所ともいべき予算のあらましと特色を紹介いたします。やらなければならぬ事業が山積みしている反面、その裏付けとなる財源の確保がむずかしい本村では、その効果的な使いかたが重要となつてきます。

特に国や県の本年度の施策も、昨年後半からの石油危機に始まつて諸物価の値上がりなどによって総需要の抑制、公共投資の抑制が考えられています。したがって本村の予算もこの点が考慮されているものの、あくまで住民生活の安定と、福祉の充実を基本とした姿勢の中で、計画どおりの山村開発センター建設などを盛り込んだため大幅な伸びとなりました。私たちひとりひとりの責任として、少しでも村財政の内容を理解し、豊かで明るい村づくりのため力を合わせたいものです。

出 用途はきめ細かく 費目で見る施策と特色

■議会費・総務費
九千七百二十七万五千元
村の行政一般の運営をはかるための費用といえます。

この中には、議会、役場の通常経費のほか、村有林、財産管理や交通安全、自然環境保全、公害対策、徴税、選挙、戸籍統計調査などの経費があります。

また、本年度から実質的に作業に入る村誌編さん、広報や議会報の発行費などもこの中に入ります。

特別なものとして、有線放送協会負担金、過疎バス車掌確保負担金などがあります。

■民生費

四千九百九十二万五千元

住民すべてが、うるおいのある生活を営むための費用です。

老人福祉を含む一般的な社会福祉、保育所費などの児童福祉、生活保護費などで、老人や乳幼児などの医薬費の負担もこの中で行なわれます。

本年度から、寝たきり老人やひとり暮らしの老人を世話するための老人家庭奉仕員（ホームヘルパー）の設置も実現、そのほか、保育園児送迎費の助成、乳幼児医療費助成の年齢を一年引き上げるなどが盛り込まれました。

■衛生費

二千九百九千元

健康で明るい生活を営むための予防的な費用といえます。結核や成人病などの予防費、環境衛生費、母子センター費などが含まれます。

年次計画に基づいた飲料水確保のための簡易水道施設は、五加で二カ所が予定されています。また、保健技術者の将来的な雇

保をねらいとした修学資金貸付制度が制定されました。

■農林水産業費

一億六千三百六十八万五千元

より所得を高め、豊かな村にするための費用といえます。

本村の特産である茶と養蚕を主とした自立経営農家、それに近い農家の育成強化をはかるための経費、東濃ひのきを主体にした林業の育成経費などです。

これら農林業の合併経営の指導と、他産業との生産所得の格差をなくするため諸施策の費用が盛り込まれています。

念願の山村開発センターも本年度から二カ年の継続事業で着工されますが、その費用も見込まれて大幅にアップしました。

また、農林業後継者の育成対策事業として、後継者の研修機会や場を提供する経費も見込まれています。

■土木費

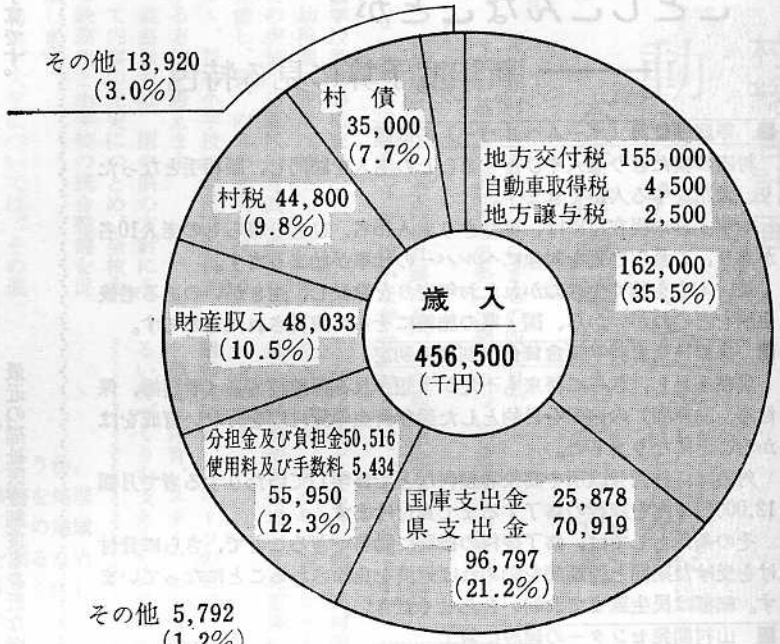
三千八百三万六千元

よりよい生活を支えるため、地域環境づくりの費用といえます。村道の改良整備に要する経費で継続事業の神土・角領線の改良工事をはじめ、舗装工事やオーバレイ工事などが主なものですが、主要地方道白川・加子母線は大沢地内から柏本地内の改良工事を早期実現させるための努力が続けられます。

越原・付知線の舗装、補修一万

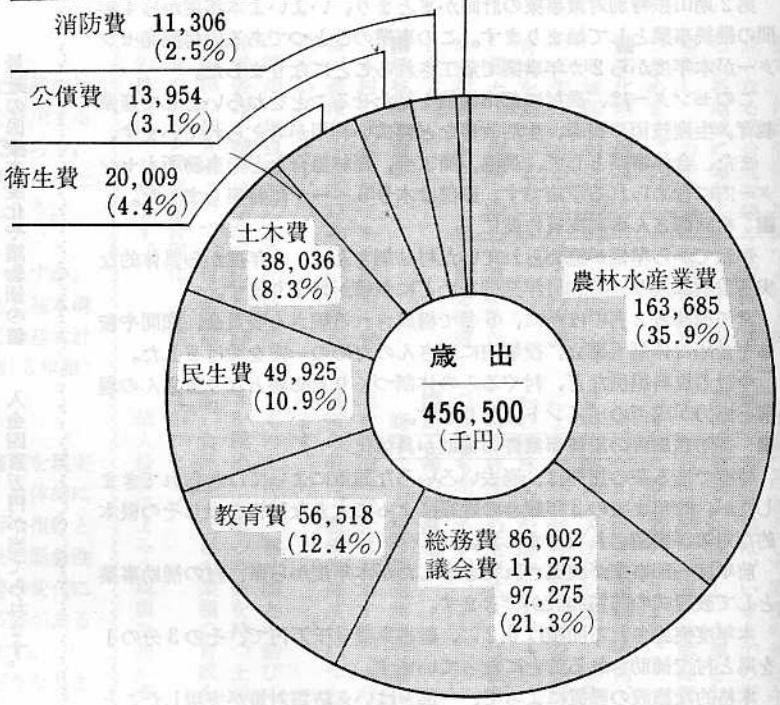
■**消防費**
 平方び、黒淵橋のかけ替え、神土下呂線の平バイパス取付工事も本年度事業に予定されています。

■**消防費**
 一千百三十万六千円
 明るく豊かな生活を、不時の災害から守るための費用です。防火、防災のかなめである消防に対する経費で、非常時に出動するための団員の確保や技能の向上に対する経費、施設費などが見込まれています。



■**教育費**
 本年度は、機動力の充実ということから、小型動力ポンプ二台と積載車の購入が予定されています。

■**教育費**
 五千六百五十一万八千円
 村の次代をにう人づくりのための費用といえます。教育の中心となる教育総務費のほか、小・中学校費と学校施設整備費、社会教育費、保健体育費などがあります。



この中には、教育環境の整備、内容の充実強化のため早期実現をめざす村内一校の小学校統合校舎の建築準備費も見込まれています。

■**商工費・労働費**
 二百二十二万八千円
 村内の商工業の育成をはかるための費用です。若年労働力の村内定着と村外通勤労働力の村内定着、兼業農家の安定した就業のため、立地条件に似合った軽工業の導入をはかるいろいろな施策が考えられています。

■**商工費・労働費**
 二百二十二万八千円
 村内の商工業の育成をはかるための費用です。若年労働力の村内定着と村外通勤労働力の村内定着、兼業農家の安定した就業のため、立地条件に似合った軽工業の導入をはかるいろいろな施策が考えられています。

歳入 苦しい財源の確保

5割以上を国、県へ依存

歳入は大きく分けて、国や県から交付、補助される依存財源と、村独自で確保する村税や財産収入などの自主財源があります。

本村のような特定財源の乏しい場合は、どうしても依存財源が主となって、本年度も全収入の五七・二割を見込んであります。

自主財源のうち村税は、一世帯平均にすると約四万六千七百五十五円、ひとり当たりでは一万九百七十二円となります。

財産収入の主なもの、村有林の生産素材の売却ですが、これらのほとんどは投資的な建設費の財源にあてられます。

村の全歳入、歳出は一世帯平均にすると約四十七万六千円、ひとり当たりでは十一万一千八百円となり、国、県に大きく依存した姿といえるようです。

こうした貴重な財源である以上少しでも効果的に運用するために行政の努力はもちろん、村のひとりひとりの理解と協力が必要です。

この中には、教育環境の整備、内容の充実強化のため早期実現をめざす村内一校の小学校統合校舎の建築準備費も見込まれています。

■**商工費・労働費**
 二百二十二万八千円
 村内の商工業の育成をはかるための費用です。若年労働力の村内定着と村外通勤労働力の村内定着、兼業農家の安定した就業のため、立地条件に似合った軽工業の導入をはかるいろいろな施策が考えられています。

別計 特会

病院・国保とも経営難

ことしも一般会計から繰入れ

■東白川病院事業会計

歳入 六千百万円
歳出 七千七百二十万円

本村ただひとつの医療機関として私たちが住民の健康を支える東白川病院は、公立病院としての使命制度上の制約、人口減などによって本年度も千六百二十万円の赤字予算です。

運営するについても、医師の増員はしめ看護婦の確保でさえ、最近では困難となってきました。

幸い、現病院長の献身的努力によって診療業務や成人病検診などいろいろな予防活動は支障なしに続行され、住民の健康増進に大きな役割りを果たしています。最近の福祉医療制度も身近な医

■国民健康保険特別会計

六千三百四十八万円
最近の医療高度化や諸物価の値

療施設があつてこそ効果があがりすべて地域の健康保全と福祉の向上といったことから考えれば、例年の一般会計からの財政支出もやむおえないことといえます。また本年度から、刃地公立病院の補助制度が新設され、若干の財政援助が国から行なわれますが、さらに大幅な援助の要請が続けられることになっていきます。

上がりによって医療費は年ごとに増え、健康保険事業は苦しくなる一方です。

本年度も、村内被保険者七百六十世帯、三千人の年間医療費は約八千万円、一世帯平均では十万五千円、一人平均では二万六千円と推定されています。

その財源として、国、県からの支出金が全体の六〇・五割にあたる三千八百四十二万円、皆さんが負担される保険料三二・二割二千五百四十四万円と、一般会計からの繰入金四百万円が当てられます。

そのため保険料も一世帯当り前年度より二・五割、五千二百円の引きあげとなり、平均保険料は二万八千二百円となりました。また本年度からの助産費給付、育児手当、葬祭費給付額の引き上げも行なわれ、さらに七月一日からは、高額医療費支給制度の実施も予定されています。

ことしこんなことが —— 新年度予算に見る特色

■家庭奉仕員（ホームヘルパー）の設置

村内の寝たきり老人やひとり暮らしの老人を訪問し、話相手となったり、世話をする人ができます。

本年1月末現在村には、寝たきり老人18名、ひとり暮らしの老人10名があり、これらの人を対象にヘルパーの仕事が始まります。

長い人生を強く生きぬかれたお年寄りを敬愛し、生きがいのある老後生活をとのねがいから、国・県の施策にそって実現されたものです。

■保健技術者奨学資金貸付制度の制定

現在不足し、さらに将来も不足が予想される保健技術者（看護婦、保健婦、助産婦）の確保を目的とした奨学資金の貸付けを行ない育成をはかることになりました。

対象は、技術養成所や高校看護科などで修学していたりする者で月額12,000円以内を課程の修了するまで貸付けます。

その条件としては、修了後村の機関に勤務できることで、さらに貸付けを受けた期間と同期間を勤めれば返済を免除されることになっています。細部は民生課までお問い合わせください。

■山村開発センターの建設に着工

第2期山振特別対策事業の計画がまとまり、いよいよ本年度から4年間の継続事業として始まります。この事業のひとつである山村開発センターが本年度から2カ年事業で着工されることになりました。

このセンターは、農村に都市機能を持たせることをねらいとして産業教育、生産技術の指導、生活改善など幅広い利用が考えられています。

また、合休事業として、農協、商工会、森林組合などの事務所もセンター内に含まれる予定です。細部は本号6ページに特集しました。

■村誌編さん事業実質作業に

かねてから準備が進められていた村誌編さんは、本年度から具体的な実務段階に入り、昭和51年発行をめどに執筆が始まります。

常任執務者2名のほかに、6名で構成される編さん委員会、顧問や監修を含めた体制も確立、役場内に編さんのための一室を設けました。

今後の資料提供など、村ぐるみの体制づくりも必要となり皆さんの理解と協力が成否のポイントとなります。

■茶防霜施設の設置事業費の補助が具体化

特産である茶の振興は、過去いろいろな施策によってはかられてきましたが、昨年度までの3年続きの晩霜によって大きな被害を出しその根本的な対策が要望されてきました。

前年度一部事業が実施されてきましたが本年度から県、村の補助事業として被覆式の防霜施設ができます。

本年度実施される面積は6.2㍖、総事業費3千万円で、その3分の1を県と村で補助されることになっています。

本格的な施設の設置によって、一部とはいえ防霜対策が実現したことは、今後さらに小面積の地域に対しての設置できる足がかりとして、多くの農家から期待されています。

■小学校統合校舎の建設は本年度中に具体化

村内小学校を1校に統合し、新校舎建設のための準備費が計上されました。村内小学校々舎の老朽化や、一部学校の児童減によって、早急に環境の整備と教育内容の充実を図る必要があります。

皆さんの意向や村の方針にそった具体的な計画がまとまりたい校舎建築に着手される予定です。

合わせて、保育園や、小中学校の通園通学問題なども検討し、よりよい環境の中で伸び伸びとした学習ができるよう、広い目で見た理想の教育環境づくりへの第一歩が踏み出されました。

村総合計画

動きだした諸施策

本年度事業にも盛り込む

東白川村総合計画のあらましの四回目です。今後の基本的な施策の姿勢(大綱)について前月に引き続き紹介します。

新年度にも、この総合計画に基づいた施策が盛り込まれ、住みよい豊かな村をめざした確かな歩みが始まっているといえます。

■学校教育の拡充

幼稚園の設置は望ましいが、本村の実情から既設保育園の機能を整備し、質、内容の充実をはかりつゝ、将来小学校に幼稚園を併設する方法を考えます。

義務教育は、国や県の方針にそって内容の充実につとめ、全校舎の鉄筋化と小学校の統合整備を促進します。

高校、大学については、その進学率の向上に対処し、高等学校の増設、再配置の協議を関係市町村と行ない方策を考えます。

■社会教育の充実

急速に変化する社会環境の中でよりよい人間関係をつくるために社会教育の振興は重要で、学習活動の活発化、指導体制の強化をはかり各種社会教育団体の育成強化をはかります。

総合計画はなぜ必要か

(問) 町村ごとの総合計画はなぜ必要でしょうか。
(答) 地方自治法の中に「市町村はその事務を処理するにあたっては、議会の議決を経て、その地域における総合的かつ計画的な行政運営を図るための基本構想を定め、これに即して行なうようにしなければならない」と規定されています。したがって総合計画は法律で義務づけられています。

(問) それはどんな理由からですか。
(答) 法律論は別としても、現在のような複雑な社会情勢の中で市町村が当面する諸問題を解決するためには、場当たりの行政では不可能であって、長期の見通しをたて、総合的に秩序だった行政の運営を図ることが当然と云えましょう。総合計画はそのための方法なのです。

(問) 総合計画はどのように構成されていますか。
(答) 計画の構成は、長期的ビジョンである基本構想(目標昭和60年)と、中間計画としての基本計画(55年)、短期のものとしての実施計画(3年毎)とに分かれています。

(問) 実施計画とはどんな内容ですか。
(答) 実施計画は、基本計画に盛り込まれた施策を現実の行財政の中でどのように実施するか、具体的に組立てて、毎年度の予算編成や予算執行の指針とするものですが、各事業年度の経済効果や緊急性などを総合的に判断しながら、社会情勢の変化に対処して弾力的かつ計画的に実施する必要があります。そこで毎年修正(調整)を行ないます。

(問) 総合計画は財政面とのかねあいはどうなりますか。
(答) いかにか将来への理想や事業を描いても財政による裏付けのない計画は実現の保障がない。"絵にかいた餅"に等しいものです。

すなわち、総合計画は財政的にも実行性のある計画でなければならず、これを確保するのが財政計画で、この総合計画の中に織り込まれています。

(問) 総合計画はだけでも閲覧できますか。
(答) 役場へお出かけくだされば住民のどなたでも閲覧できます。なお、この計画書は議会や組長、各種団体の役職のかたがたへお配りしています。

要で、体育活動の組織づくりと拠点となる総合運動場や体育館、さらに各地域に運動広場やコートを整備し、体力や健康の維持増進につとめます。

■文化財の保護

地域開発や生活様式の変化によって失われる文化的遺産の保護育成を強化します。

郷土への理解と関心を高めるために村誌の編さんと郷土館を設置します。

■農林業の振興

本村の成長作目である緑茶、養蚕、畜産を中心に集約的、企業農業をめざします。

開畑、作目転換による同地化や経営委託、請負耕作などによる経営規模の拡大によって、自立経営農家の育成と、経営合理化、生産性の拡大につとめます。

東濃ひのきとして需要の伸びが期待される林業は、いままでの資源保有意識から脱皮し、企業として、さらに生産性の高い林業経営を推進する必要があります。

そのために主要林道網の整備、計画的輪伐、人工林の造大、協業による山林労働の確保、経営委託分取造林などを進めます。

特殊林産物の生産拡大、後継者の育成も進めます。

■商工業の高度化

商業は、今後の販売競争の激化消費構造の変化に対処するための経営の改善、設備の高度化につとめます。

そのために、観光面との結びつきを深め、地域の特徴を持つ土産品、食品加工などの業種の育成をはかります。

個人経営による小規模生産が多

い本村の工業は、今後協業化、経営分担、合併などによる資本整備の拡大をはかる必要があります。農業生産の合理化と見合った農工一体化の体制を確立し、地域の特性を生かした条件の整備につとめます。

■観光レクリエーション

村は、恵まれた自然環境を保有し、観光、レクリエーション地としての条件を備えているものの、受け入れ体制は十分ではありません。

今後、自然環境の保全を基として、家族や学生を対象とした健全レクリエーション施設を拡充します。

また、保健休養地の整備、自然保養林、民宿、貸別荘なども考え、駐車場、遊園施設、公衆便所なども整備します。



開発センター いよいよ着工

村の総合拠点として
2年継続事業で建設

長年の念願だった山村開発センターが、いよいよ建設の年を迎えることになりました。

本年度から始まる第二期山振特別対策事業の初年度、第二年度の継続事業として実施されるものですが、そのねらいと計画のあらましを紹介しましょう。

都市と農山村を比較するという言葉はいろいろありますが、最近よく使われるのは過疎という言葉です。

過疎という言葉の意味は、ただ単に人口が少なくなったという現象だけではなく、村の人たちの生活を支える産業も、その産業を支える労働力も、その労働力の基となる生活環境もすべて充実を欠いて、中途はんばで先細りの状態をいうのでしよう。

最近の石油危機、物不足などの

社会情勢の中で、農業や農村が見直されてきています。

せっかく見直され始めた農山村ですが、残念ながら都市と比べて生活を豊かに、幅の広い文化的な人間生活を受けられるような施設が少ないのが現状です。

現在の人間生活は、ただ働くためだけではなく、働く事以外の分野に生活内容の比重が高まりつつある傾向の中で、それを受け止めてくれる施設が無いのです。

山村開発センターは、このような必要性を背景にして、農業、林業、商工業、青年、婦人、老人など村内各層すべてのひとびとを対象にしています。

それらの研修活動の拠点、社会教育活動の拠点、さらに農林商工業団体の事務所を集中設置することにより、生活に密着した経済活

動の拠点としてだれにも利用でき、気軽に便利な総合施設とするのがねらいです。

村ではこのような基本的な考えから建設委員会を設置、四月から五月にかけて細部を検討しながら設計を完了しました。

引き続き県と協議を行ない七月ごろまでに最終的に計画が完了、九月に着工し昭和五十年夏には完成させる予定で準備を進めています。

なお開発センターの位置は現在の農協、公民館、駐在所を取り壊した場所が予定され、農協はセンター内に、公民館はグラウンドに移

築されてスポーツ施設としての生まれ変わりが予定されています。このように、関連施設の整備も

後継者育成に本腰

国内留学や研修会

農林業の後継者育成は、将来の発展のために重要な意味を持っています。

現在、本村には約二十五名の若者が後継者として農林業の自立をめざし、この二・三年でこれら若い力によって、養蚕、茶業など各分野の経営規模の拡大と、所得の

一挙に進められ、村民生活のいつそうの充実が期待されます。

増加が目立ってきました。

村では、若者たちが自分の仕事に勇気と、責任と、喜びを持って従事し、基幹産業である農林業を守り育ててくれるようにと、本年度新しく後継者育成対策を行なっています。

数名の代表を国内のモデル農家に留学させる制度、研修会など急にプランをたてますが、ほかにも良い案がありましたら、産業振興課までお寄せ下さい。

一 建設計画のあらまし一

- (1) 事業主体 村
- (2) 建設年度 昭和49年度～50年度（2カ年継続）
- (3) 建設場所 現東白川農協事務所位置
- (4) 構造規模 鉄筋コンクリート4階建、延面積 1,650㎡
(500坪)程度とする。(暖房完備)
- (5) 建設費用 総事業費見込 165,000,000円
内 補助対象 50,000,000円
非補助分 65,000,000円
団体事務所分 50,000,000円

(6) 主な利用区分別構想

- (イ) 農林業経営指導研修施設
農林業指導室、試験研究室、展示コーナーなどを設けて農林業の指導研修、経営改善の拠点とする。
- (ロ) 福祉生活改善研修施設
老人の部屋、栄養改善実習室(調理実習)健康相談室等を設け老人クラブ活動、栄養改善の場とし、これらの集会を有効に活用して健康増進のための活動を行なう。
- (ハ) 公民館活動施設
青年の部屋、婦人の部屋、大集会室、談話ロビー等を設けて、社会教育、公民館活動の拠点とする。
- (ニ) 各種団体事務所
農協、森林組合、商工会、林材組合、農業共済組合の事務所を併設し、前記各施設の有効利用による合理的な団体活動の助長と住民サービスの向上をはかる。
- (ホ) その他付帯施設
開発センターの機能上必要な附付施設。

第一回村民剣道大会

神土Bチームが優勝

百三十名の選手が熱戦展開

体育協会主催の第一回村民剣道大会が、さる三月十七日に東白川体育館で開かれました。

試合は午前九時から午後五時まで、団体、個人戦、それに銃剣道を加えて総勢百二十名の選手が熱戦を展開し、それぞれの優勝者や優勝チームが決まりました。

日ごろ練習の機会や、施設設備にも恵まれていないのかかわらず、むかし鍛えたという中年層か

ら青年、剣道部の中学生を交えての、地区別団体戦は予想以上の盛り上がりを見せました。

また、むかしの銃剣道もこの日村内で始めてひろうされました。県の銃剣道連盟から参加された四名の選手による模擬試合の後、村内の経験者による試合もあつて

さかんな拍手を浴びました。この日、村内中学生と加子母村中学生との剣道交歓会も、大会の

青年祭

欲しい一般の盛り上げ

伝統守り青年演劇を上演

三月十日、東白川青年団最後の行事である青年祭が体育館において盛大に行なわれました。当日は、青年たちがこの三カ月間練習を続けてきた演劇四つと、各分団が工夫した寸劇や歌をひろうし、観客の拍手を浴びました。東白川の演劇は、先輩が守り続けた公演会をそのまま現在まで上演し、青年活動がしだいに減び行くといわれる今日、その内容はともかくとして、今もなおその伝統を守り続けている姿はりっぱな青年活動といえます。

確かに、むかしの公演会と比べて観客は少なくなり、特にことしは小学生の入場を止めたこともあつて客の数は少なかったようです

盛りあげに役かいました。特に加子母村中学生の中には女子剣士も含まれ、会場のさかんな応援を受けがんばる姿は、ほほえましいものがあつたようです。第一回の大会が盛大のうちに終わつたことは、今後村内の剣道人口の底辺拡大に大いに役立ち、日ごろ運動不足になりがちな冬期のスポーツとしても大きな期待が寄せられます。

村でも、指導者の育成、施設設備の充実を考えています。当日の成績は次のとおりです。

【団体の部】
優勝—神土Bチーム
安江和良、安江健二、安江貞



↑ 熱心に演技する青年たち

今日、私たちの目はテレビや、映画の影響で目が肥え、青年たちの劇はそれらにはとても比べものにならないのは当然といえます。そのために、見る側も自分がそ

行、安江利行、安江慎一郎
二位—神土Aチーム
三位—越原上チーム
ク—越原下チーム

【個人の部】
中学生
優勝—今井達郎（加子母）
二位—熊崎勝彦（ク）
三位—若井千尋（東白川）

青年
優勝—安江健二（下親田）
二位—安江正徳（ク）
三位—松岡昭信（陰地）

壮年
優勝—安江貞行（上親田）
二位—安江利行（下親田）
三位—田口安幸（日向）
三位—安江多策（大明神）

の劇を作り上げるつもり、演出や演技をするつもりで見れば、そのむずかしさや楽しさがよくわかるでしょう。

青年たちも、現在の青年活動の中でいちばん思い出に残り、学習できる場は、劇を作り上げるまでの課程と上演できる青年祭だと話します。

これからも、この青年祭が続いていくためには、一般の人たちが観客となつてじょうずな所はほめたな所は指摘し、青年活動に関心を示す必要があるのではないでしょう。

なお、当日の演劇を審査の結果最優秀賞に神土Aブロックが選ばれました。



■人の動きあれこれ
誕生おめでどう
ございませう。

（二月）

（曲坂）安江 洋次 圭 長男

（日向）安江 明美 長男

（平）田口 恒子 希 長女

（神付）村雲 義巳 正隆 二男

いつまでも
おしあわせに



（松岡）洋一（陰地）
（田口）成子（西洞）



おくやみ
おしあげます

熊澤 だい（日向）
大坪 市松（下親田）
安江 順一（日向）
今井 貞雄（平）

■日本ライン老人ホームの入居者募集しています

新しく五月一日に開所する日本ライン老人ホームの入居者を次の要領で募集しています。

この四月六日から十五日までの十日間、「新学年、よいこはみんな、交通安全」のスローガンのもとに、春の全国交通安全運動が繰り広げられています。

期間中は、歩行者事故、特にこどもの事故防止と自転車乗りの保護を重点目標に行なわれます。

本村では幸いにして、この数年間通学途中での大きな交通事故は起きていませんが、事故がないからといって決して安心することはできません。

車の陰からの飛び出しや、自転車

新学年 よいこはみんな 交通安全

「お母ちゃん今日神土へ行くだね。朝真白なカッターに中学校の制服を着てすっかり支度の出来た長女。

あゝ今日は中学一日入学の日だったのにすっかり忘れていた私「ごめんね」と心の中で詫言ながら「ああそうかそんならね、ちょっと神様におねがいして行きなさい。無事故で行って来れますようにってね。」

小さな事だけど朝神様に手を合せる事が、今日一日ほんとうに無事故で帰って来られると云う安心感。

そんな心の安らぎを思いつつ、私も心の中でどうか無事で行かれるようにと始めて県道に出て行くわが子を見ながら、自動車 came たらうまくよけられるかしら、あわてゝころぶのではないかしら、友

車乗りの転倒事故など、ドライバーを一瞬ひやりとさせることがあります。

今までお母さんに手を引かれて通っていた保育園児は、四月から一年生になって一人で通学します

始めて自転車を通り中学生など交通規則を十分知らない子供たちが、たくさん交通社会に入ってきてます。

運転者の皆さんも、こうした子供を事故から守るため、四月、五月は細心の注意を払ってハンドルを握ってください。

危険な道路わきの遊びや自転車練習など、「あぶない」と思われたら、必ず注意を与え「愛の一声運動」の呼びかけをしましょう。

●保育園児や小学生をお持ちのご家庭では

家庭における安全教育の充実を図るため、家中で話し合ったり、買物や用事で出かけるついでに、集団登校の児童と一緒に歩いてみましょう。

●自転車通学の生徒をお持ちのご家庭では

達との間隔がうまくとれるかしらあれこれ心配すればきりがありません。

県道まで十分位かゝる道を自転車を引張って行くのを見て、「お母ちゃんも県道までついて行ってあげるから乗って見なさい」と後からついて行くのに先生が「絶対

無事故の願い

越原日向 安江重子

乗って来てはいけない。」と云われたからと一足ものらないでついに県道に出ているのです。

自転車に乗れるようになるまでは夢中にけいこしたのにこの頃はあまりの姿をみかけず、ましてや新しい自転車にはあまりなれていません。

先日、業者のサービスで自転車点検を実施しましたが、自転車の手入れ不足に驚きました。

ブレーキのききの甘いものやベルのないもの、中でも一番多かったのが油ぎれ、常日頃から物を大切に使うことを含めて、点検整備の指導を行なってください。

この村から痛ましい交通犠牲者を出さないよう、各関係機関や団体を通じて、春の交通安全運動が進められますので、皆さんのご協力をお願いします。

した。

もしも今日事故があったらと、一日落ち付かぬ日を送り自転車に乗っている時間を見計らいながらもう帰るか、もう帰るかと思いつつ「子供の事を思っていれば無事である。」こんな気持ちでいるのも親馬鹿なのか自転車にりに自信がないからでしょうか。

不安な気持ちでいるところへ「キイー」とブレーキの音「あゝ帰った」神様ありがとうございました。

真つ赤なほほをして帰ったわが子を見てやと胸をなでおろしました。

今日始めて出してやった気持ち子供たちも今日という日は全神経を「無事故」この三字に託した事と思えます。

ひがししらかわ

- 所在地 加茂郡坂祝町酒倉一三七
- 経営主体 社会福祉法人日本ライオン老人ホーム
- 収容定員 五十名
- 施設の目的

多年にわたり社会進展に寄与されたお年寄りに、健全で安らかな生活を送っていただくとともに、意思を尊重したのびのびとした生活が主眼です。

希望による内職の世話や、施設付属の農園での園芸も楽しめます。

役場内民生課住民係
—申込先—
■漂白手帳制度ができました

この制度は、精神薄弱児(者)に対して一貫した指導、相談を行なうとともに、各種の援助を受けやすくするものです。

そのために手帳を交付し、精神薄弱児(者)の福祉の増進に大いに役立っています。

この手帳は、現在すでに実施されている身体障害者手帳と同じようなものですが、該当すると思われるかたは手帳交付の申請手続きをしてください。

申請書は役場の民生課住民係にありますので、印鑑を持参のうえ手続きをしてください。

くわしい相談は、民生課長、住民係長まで連絡ください。

盛り上げや協力を

新年度の団体長や役員決まる

この四月から、村内各方面で皆さんがたの代表として、世話役としてご苦労いただく各団体長や役員が決まりました。

村が行なう事業や行事に対してのご協力や、広く皆さんの声や意向をまとめて代弁したり、明るい村づくりのための推進役といえます。

例年、団体長や役員選出は、引き受け手がなく、なかなか決まらないのが通例になっていきます。やっと決まれば、後は役員まかせ、村の悪い風習として役員や長を物好き、お人好しにしてしまっ

てはいないでしょうか。
お互い職業や家庭を持っていないがらの奉職である以上、盛り上げや協力が必要といえましょう。

泰平一家



■組長

(神土)

- 大口―村雲康彦、平―中村滝光
- 下親田―安江勇造、上親田―安江
- 国市、中通―高井武、神付―安江
- 鉄郎、中谷―今井仙二、加舎尾―
- 安江勇、西洞―河田幸雄

(越原)

- 曲坂―刈田芳美、日向―安江勇
- 兩、陰地―安江鈴一、栃山―笹俣
- 俊夫、黒淵―安江正義、大明神―
- 三尾卯一
- (五加)

- 柏本―栗本英三、宮代―古田昭
- 男、大沢―今井美穂、下野―今井
- 武一、久須見―古田好夫

■東白川村体育指導員

- 安江久夫(日向)、今井猛夫
- (柏本)、安倍徹(西洞)

■東白川村社会教育委員

- 森川久(東白川中)、古田小夜
- 子(久須見)、安江尚真(陰地)
- 安江益良(柏本)、神戸奨(平)
- 田口稔(上親田)、今井定夫(曲坂)

■東白川村公民館運営審議会委員

- 安江正男(神土小)、今井志げ
- る(加舎尾)、熊沢光介(日向)
- 沢木嘉康(平)、嶋田進(宮代)
- 安江きぬ(柏本)、桂川完二(黒
- 淵)

■東白川村体育推進員

- 今井英信(宮代)、古田公平(西
- 洞)、藤井昭司(平)、山口和久
- (平)、安江健二(上親田)安江建
- 夫(平)、今井章治(大沢)、樋口京
- 一(中通)、安江正夫(日向)、今井
- 直美(下野)、古田勝彦(平)、田口
- 光洋(中谷)、古田茂樹(久須見)
- 安江誠(大明神)、安江博(栃山)

■PTA会長

- 東白川中学校―安江文吾(上親
- 田)神土小学校―木村成人(上親
- 田)越原小学校―松岡進(日向)

五加小学校―古田真之助(柏本)

■東白川青年団

- 団 長―今井政信(宮代)
- 副団長―安江健二(下親田)
- ク ―安江澄江(陰地)

■東白川婦人会

- 会 長―桂川ただ(黒淵)
- 副会長―三尾きみ(大明神)
- ク ―安江千代(上親田)
- 会 計―金尾みつる(陰地)
- 書 記―内木かず(黒淵)
- 神土支部長―田口かずみ(中谷)
- 越原支部長―田口こと(陰地)
- 五加支部長―古田きぬ(久須見)

■東白川消防団

- 団 長―古田敬司(久須見)
- 副団長―村雲 忍(陰地)
- ク ―桂川耕作(大明神)
- 本部長―

予防部長―木村成人(上親田)

- ポンプ部長―中村十美(平)
- 訓練部長―田口学(柏本)
- 第一分団長―安江利勝(平)
- 同副分団長―中島潮巳(平)
- ク ―伊藤 勉(上親田)
- 第二分団長―安江源一(柏本)
- 同副分団長―藤井勝美(大沢)
- 第三分団長―桂川耕輔(大明神)
- 同副分団長―安江庄吉(日向)
- ク ―熊沢光介(日向)

■老人家庭奉仕員を募集して

ます
村では、本年度から老人家庭奉仕員を採用することになりました。

この奉仕員とは、身体上又は精神上の障害があつて、日常の生活を営むのに支障のある老人の家庭を訪問し、次のような仕事をしていたり、いたるものです。

- 食事の世話、衣類の洗たく、
- 補修、居間等の掃除、整理、整
- とん、身のまわりの世話、生活
- 身上の相談や助言など

〔募集要項〕

- 一、採用条件
- (イ)心身とも健全な方
- (ロ)老人に理解と熱意を有する方
- (ハ)三十歳〜五十五歳位の女子
- 二、勤務方法
- 原則として常勤とする。

三、報酬

- 月額 五万八千五百円
- 手当 年間 月額の百分の三
- 百六十

四、募集人員

- 二 名
- 細部は役場民生課住民係へお
- 問い合わせ下さい。

■商業統計調査に協力

この商業統計調査は、全国の商店をもれなく調査して、商店数、従業者数、商品販売額、商品手持額などを業種別、規模別、地域別などに握しようとするものです。

調査活動も本格化

村誌編さん執筆体制整う

郷土百年の大計のもとに、新しい村誌の編さん事業がいよいよ本格的にスタートします。

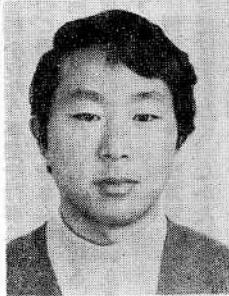
村では、前号でもお知らせしましたように村誌編さん委員会を充足させ六名の委員を委嘱して、その準備を進めてきました。

そしてこの四月一日から、さらに二名の常任委員(編集担当)を委嘱し、五十一年度発刊をめざして本格的な作業を開始することになりました。

この委員会は、前村長の河田勘市さんを委員長として、八名の委員が一丸となってこの事業の推進にあたります。

今後、各地区や各分野にわたって幅広い調査活動を展開するため協力組織もしだいに拡大することになっていきます。

そして村ぐるみの協力体制による新しい東白川村誌が完成できるような皆さんの暖かいご支援を望んでいます。



後養蚕一本の企業経営をめざしがんばっています。

後養蚕一本の企業経営をめざしがんばっています。全面水田転換などの規模拡大を図り、三万ドル農業をめざし着々と成果をあげ、村の蚕業青年グループのリーダーとしても活躍しています。



昭和四十八年度全国養蚕後継者体験発表会がさる三月七日に行なわれ、本県代表として参加、みごと優秀賞を獲得した安江博君です。

もう、そろそろお嫁さんの年ごろ、近い将来には若いふたりでがんばる姿が見られるかも知れません。

若い力の躍進が、村の活気を呼び、同君に続く若い世代の活躍が期待されています。

この欄は今後村内で活躍した人脚光を浴びた人の紹介をします。

■常任委員(編集担当)

- 田口耕作(神戸)
- 安江又右エ門(神戸)

■村誌編さん事務局

- 企画広報課

―お願い―

この村誌編さん事業は、今後三カ年間にわたって行なわれますが

本年度はその手はじめとして、村内のあらゆる文献や資料の収集、現地調査を行ないます。

皆さんのご家庭や、部落での古い文献や記録、言い伝えなどについて役場内の村誌編さん室、または企画広報課へご連絡ください。

(有線 二二八五 二二八四)

教職員人事異動

福岡校長ら十一名転出

ことしも四月一日付で県下の教職員人事異動が行なわれ、村内でも約四分の一にあたる先生が転出、配置替えとなりました。

また、それらの先生がたに変わって他市町村からや新しく学校を卒業された新進気鋭の先生がたが赴任され、新学期が始まっています。

こんどの異動によって転出、配置替え、退職、転入された先生がたは次のとおりです。

こんどの異動によって転出、配置替え、退職、転入された先生がたは次のとおりです。

- 転出
- (東白川中学校)
 - 教諭 堀 昭子 可児共和中へ
 - 石田隆章 安八神戸中へ
 - 村雲芳明 本巣西小へ
 - 恩田房子 越原小へ
 - 木嶋義人 五加小へ
 - 村雲美知子 退職
 - (神戸小学校)
 - 事務職 阿部義弘 鷺沼第三小へ

- (越原小学校)
 - 校長 福岡 猛 恵那武並小へ
 - 教諭 高橋香代子 岐阜綱代小へ
 - (五加小学校)
 - 教諭 宇野多美雄 大垣東小へ
 - 岡崎行雄 揖斐北和中へ
- 転入・新採用
- (東白川中学校)
 - 教諭 沢田光雄 関緑方丘中から
 - 太田たかし 白川中から
 - 藤川広和 新(立命館大)
 - 清水豊隆 新(岐大)
 - 篠田敬子 新(椋山大)
- 事務職 桂川 洋 新
- (神戸小学校)
 - 教諭 後藤史郎 瑞浪稲津小から
- (越原小学校)
 - 校長 恒川源一 伊奈波中から
 - 教諭 恩田房子 東白川中から
 - (五加小学校)
 - 教諭 林 広司 新(岐大)
 - 木嶋義人 東白川中から
 - 事務職 桂川充子 新

けいじばん

通商産業省が昭和二十七年以来二年ごとに行なっているもので、商店の国勢調査ともいうべき国の指定統計調査です。

この調査の結果は、商業統計表として公表され、行政上の基礎資料、商店経営の指標として広く利用されています。

調査は五月一日現在で行なわれますが、四月中に商業統計調査員(都道府県知事任命)が準備調査のため、調査票を配布しますので、必要事項を記入して下さい。

提出された調査票は、統計法によってその秘密は堅く守られます。

- 昭和四十七年の調査結果は、県内の商店数四万九千軒、従業者数十五万七千九百九十二人でした。
- このうち本村では商店数七十軒、従業者数百六十六人、年間商品販売額五億二千九十一万円であることが分かりました。
- 〔調査種類〕
 - (一) 調査票甲
 - 法人商店(飲食店を除く)
 - (二) 調査票乙
 - 個人商店(飲食店を除く)
 - (三) 調査票丙
 - 飲食店
- 調査票の記入について不明な点がありましたら、担当調査員が役場内企画広報課(有線番号二二八五)へお問い合わせ下さい。

村の文化財



享保の境谷事件(前)

⑨

享保十年四月、親田捨難方面(現親田論所)山林に東組のもの(現親田論所)山林に東組のものが作業していると、平組から総入会山(神土共同山)ではなく平組所有の組切山として東組の入会を拒絶した。

東組は前年の宮の総入会の定目と古来の習慣を主張して、同年六月東組頭清右エ門らは代官所へ訴え出たが総入会の書類のない事、その他の理由にて敗訴し清右エ門は追放となりその他は地替または過料に処せられ事は終わらんとした。

同年十二月追放人元東組頭清右エ門は、銀右エ門田八郎と話合つて苗木藩江戸屋敷へ訴状を作つて訴え出た。

その訴状の要旨は、東組民は山野に乏しく薪炭肥料など採取に困難を極めている。特に納組にも困る時は、入会を認められている草山に入る事を拒絶され、また過大な祭礼の費用を賦課された神付地区の困難な事情を訴えたもので、同時に東組民丈六郎外も略同一の訴えをしている。

それに対し享保十一年正月、庄屋と平組西組頭の答弁書がかかわされ紛議をかきねたが、奉行の裁決は前と同じく東組方に総入会を証する書類なく、庄屋から提出の宝永元年入会山に非る百姓の連判状のため不利にて三人は罪に問われ



→ うっそうとした林の中に静かに当時を物語っている石碑

清右エ門は牢舎にその他は手錠申付られ、牢舎の費用は東組四十二人の負担とし、他の二人はそれぞれの兄たちで養う事になった。

その後庄屋方より和議の交渉ありしも不調であった。同年十二月、神土村総百姓村方諸法度に加判が行われたが、その法度書の中に入会の草

山は宝永元年に定めた組切山とあつたため総百姓中山論に関係あるものは加判を拒み、十七名の者が主唱者となり旧慣により入会地たる事を主張し東組民の民情を訴えてやまなかつた。

享保十二年六月磯右エ門・平四郎らは代官所へ地替えされん事を願つたが聞き入れられなかつた。同年七月、さきの十七名は苗木

先月に引き続き今月も貧血についてです。

〔貧血の食事〕

血液は、いろいろな種類の成分でできています。

その中の赤血球は骨ずいで作られ血液中に百二十日生き続けます。

そして心臓というところで鉄が取り除かれ破壊されます。

食事上の注意としては、血液をつくる源となるたん白質や鉄分、造血を促進する栄養素のビタミンB群など十分にとることがポイントになります。

たん白質―肉類、魚類、大豆やその製品、卵、貝類など
鉄分―レバー(豚、牛、鶏)うなぎ海草、丸干いわし、ほうれん草など緑黄野菜、干果物。

ビタミンB群―小麦胚芽、うなぎ、落花生、強化米、くるみごま、豆類、緑黄色野菜など。

出頭を命ぜられたが、加子母より木曾藩越を経て江戸へ向かつた。彼らは、庄屋、各組頭や関係者を相手として、江戸奉行所へ神付住民の困難な状況を哀訴し、捨難山は平組切山ではなく神土総入会山である事の意志を貫徹しようとした。

論交渉も絶望、苗木の奉行またたのむに足らない。最後のたのみは江戸のお殿様に直訴あるのみと、三組に分れて用心深く江戸へ出発したが、苗木奉行所の命で後を追つた庄屋の息子らに捕えられ江戸屋敷に引渡された。

―以下次号

(文責、神戸正弥)

以上の三つの栄養素は、特に毎日取るように心がけてください。

それと同時に、いくらいい食品をとつても胃腸の働らきが悪くては、吸収できませんので、日ごろから調子を整えておきましょう。



―貧血は食事で―

鉄分の吸収をよりよくするためには、ビタミンCもたいせつで、食後には夏みかん、はっさくなども大いにとってください。

このようなことから、貧血の食事対策の五つのポイントとして次のことがあげられます。

- (一) 栄養のバランスのよい食事
- (二) 鉄分を多く含んだ食品を積極的にとること。
- (三) たんぱく質を十分に
- (四) ビタミンCも十分、忘れずに
- (五) 胃腸を十分に

〔貧血の治療をしている人へ〕
診察の結果、注射や内服による治療をしている人は、よくなるまで食事療法とともに気長に治療を続けましょう。

また、薬によっては、お茶が禁止されることがあるため、注意をよく聞き効果のある治療を行なうようにしましょう。

貧血は、一般に男性より女性に多い感しで、これから結婚、妊娠、出産、育児の可能性のある人は、体型ばかり気にして欠食するようではいけません。

一日、三度の食事をバランスよくとるよう特に気をつけたいものです。



社会人第一歩を 勤労奉仕で

中学を晴れて卒業、翌日の社会人と
しての第一歩を越原保育園の土入れ作
業で踏みだした3人の若者がいます。

この善行の主は、安江章吉君(栃山)桂川工君(日向)
安江忠君(日向)の3人で、泥だけらになりながらの作業
は、なにか将来に明るい期待を持たしてくるうです。



かでとつても静かですから、勉強
したり、生活したりするのはとて
も楽だと思えます。
農家の家のつくりなど東白川と
似ているところをみるととてもな
つかしくなりました。
気がねし生活する中で、バレー
をやっていることが心の支えにな
ったような気がします。
下宿に帰るのが嫌で、このまま
友だちといられたらなあと思
いました。
しかし、心の支えになった部活
動がまたいぢばんつらいことでも
あり、三年生がみえた時はついで
やるだけだったけれど、最初は新
しいいろいろのやりかたにおどろ
き感心していました。
三年生がやめられてから一・二
年が主体となり、練習もきびしく
なってきました。
先輩がやめられた時、経験談を
話してもらいとても感激した私も
三年間続けるんだという決心をし
ました。
けれど夏休みなどの練習の辛さ
に何度もくじけそうになったもの
です。
「もうアタックなんかいや、こ
んな辛い思いしてなんになるの」
合宿ではごはんがのどを通らず
夜は寝られないなど辛かったが、
二十人ほどの一年生が負けないよ
うがんばったので、私も負けるも
んかとかんばることができまし
た。
現在は六時ごろまで練習、先生

ふるさとへの便り

バレーが心の支えに

スポーツで根情みつきたい



皆さん、こんにちは。
返事遅れてほんとうにすいませ
んでした。
延ばし延ばししていて筆無精の
私のことつい忘れてしまつて...
不安や期待を持ってやつてきた
高校生活ですが、もう一年も終わ
ってしまいました。

たったひとりの下宿生活、最初
は村が、家が恋しくてしかたあり
ませんでした。
ぜんぜん知らない所にひとりか
と思うと、家から通っている人が
うらやましく涙を流したことも何
度もありました。
でもここは、町といつてもいな

にどなられながら、先輩におこら
れながら続けている部活動。
試合も何度か経験したし、スポ
ーツを通してひとつのことをやり
とげるような根情をみつきたいと
思います。
また、いろいろなところから、
いろいろなものを身につけたい。
仕事と学校を両立させている人
が多くいるのだから、私もいつし
ようけんめいやろうと思っていま
す。

せっかちはだめ

新入学・園児の家庭指導

新学期が始まりました、まだ小
さな保育園や小学校のお子さんで
すといままでと全くちがった環境
にはいつたせいか、緊張しきつて
一日を終え、家に帰ると、出かけ
るときの元気さほどこへやら、も
うぐったりして、ぼんやりあくび
ばかりしていることがあります。
お母さんは、学校で何かあった
のじゃないかと心配のあまり「ど
うしたの...」とせっかちにお子
さんを問いつめます。「なんでも
ないよ」と、お子さんは口をつぐ
んでしゃべろうとしません。なん
でもなければいいけれど、何かあ
ったと思ひこみ、お母さんはます
ます心配になるようです。学校
はシゴキの道場ではありませぬ。
お子さんの体力に合わせて、お勉

強や体操をさせていますから、帰
つてきたお子さんにすぐ、今日な
にがあったのか、みんな報告させ
るように仕向けるのはむりです。
お母さんも、春は何かと家事の
多いときですから、学校のことな
ど、後でお父さんが帰つてきて、
お夕食のときにでもみんなで話し
合う程度にして、まずお子さんの
緊張をほぐしてやつてください。
あまりつかれていているようでした
ら一時間ぐらい昼寝のおつき合い
をしてもいいでしょう。
親も子も、洋々とした人生の門
出に胸をふくらましていた新学期
です。学校のためのしさを憶えるの
はこの瞬間です。お友達があふえ
お勉強のためのしさをそこから生ま
れます。

下宿も自炊になったし、ずいぶ
んなれたので楽しくなつてしま
した。
公害問題、経済問題などで騒が
れている社会状態ですが、東白川
はいつまでも変わらないでよきふ
るさとであつてほしいと思いま
す。
各務原市、那加、前洞町
一七九六の一の
松岡真一様方
村 雲 房 子